

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p><b>現行どおり</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口創出と地域活性化のための施設として機能していると認識しています。</li> <li>・多品目の農産物を取り揃えて販売したり、佐久の農産物を活用し、伝統食を提供すると共に、料理教室を開催している等、地産地消のために役立っていると思います。</li> <li>・開業4年目となりますが、色々と試行錯誤しながら進めてきたと思います。引き続きできることから着実に進めてください。</li> <li>・目指す目的、成果は是認できます。</li> <li>・冬期間の農産物の充実を図る工夫が必要だと思います。</li> <li>・平成30年度と令和元年度を比較し、増収基調です。</li> <li>・レストランは不振だと思う。野菜の種類、量、共にまだ少ない状況です。</li> <li>・来客者が多く、国道からの進入道路(市道)の幅がせまいため、危険との声が地元から強く聞かれます。</li> <li>・他の道の駅と違い、蓼科牛、お米、野菜、花など他県から来た人も買いたいと思えるものが沢山あり、地元の人、観光客等、全体に気配りされているので、これからも続けて発展して欲しいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季の集客がポイントであると思います。費用対効果を考慮し、過去3年間の実績をよく分析して対応して下さい。</li> <li>・冬の農産物について、農家と協力し出荷量の増加に取り組んで欲しいと思います。</li> <li>・市民に魅力的な施設となるため、冬場を含む年間を通じた商品の充実が重要だと思います。市民ニーズに応える一層の取組をお願いします。</li> <li>・現在はコロナ禍にあり難しいと思うが、営業時間の再検討も必要だと思います。</li> <li>・現行の取組を継続。売店収入を着実に上げて行って欲しいと思います。</li> <li>・本来は交流人口の創出と地域経済の活性化を図るための拠点施設であるところ、広報等、観光産業に対する事業展開が手薄です。</li> <li>・ヘルシーテラスに行けば、佐久市の農産物が購入でき、佐久市の物が食べられ、佐久市内の観光情報が得られる(ボード、パンフレットを置くだけでなく、毎日だけでなく、情報提供者を配置する)等、「ヘルシーテラスは充実している」「テラスへ行こう」といわれるような施設になって欲しいと思います。</li> <li>・将来高速道が全線開通した場合どうなるか、多少の不安もある。店舗の品揃え、食堂部門における質の向上を図るべきだと思います。</li> <li>・地元住民の為にも役立っている必要な施設だと思います。</li> </ul>

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p><b>現行どおり</b></p>	<p>佐久市の玄関口として地域内外の人、モノ、情報をつなぎ合わせる「ゲートウェイ」の役割を果たすべく、「健康長寿」をキーワードとした事業計画に基づき運営をし、通年訪れてみたくなる魅力ある施設を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季における農産物については、施設園芸による葉物野菜、貯蔵した根菜類や穀物等の出荷者を増やすことに努めます。</li> <li>・当駅の限定商品開発や佐久地域の質の高い郷土食等を提供をすることで、集客を増加させ、安定的な経営を図ります。</li> <li>・地域内外の人、モノ、情報をつなぎ合わせる「ゲートウェイ型」道の駅として、最新情報発信、観光案内人等による親切な情報提供など、より質の高い観光情報等を提供することで、佐久地域の情報発信拠点としての役割を果たしていきます。</li> <li>・社会情勢、利用者ニーズを把握し、営業時間の再検討を行う等、より良いサービスを提供することで、市民に親しまれる施設運営に取り組めます。</li> </ul>